

第2回 幼稚園再編に係る地域協議会(壱分幼稚園)

日 時： 令和3年 4 月 6 日(火)

午後3時から

場 所： 壱分幼稚園リズム室

次 第

- 1 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案(以下「原案」という。)に対する意見の共有と整理について
- 2 原案に対する追加意見について
- 3 原案に対する意見を踏まえた課題の整理について

配布資料

- 【資料1】「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する意見聴取の概要
- 【資料2】「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して提出された意見
- 【資料3】「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応

「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編
に対する意見聴取の概要

1 意見聴取の方法（令和3年3月31日現在）

(1) 壱分幼稚園再編に係る地域協議会参加団体による意見聴取

意見聴取票その他様式による意見聴取

壱分町東自治会 さつき台自治会 他

(2) PTA 役員を対象とした市教育委員会（こども課）による説明会

場所：壱分幼稚園

日時：令和3年3月3日（水）9:15～

2 意見聴取の期間

令和3年2月3日（第2回地域協議会）～

3 意見聴取した件数（令和3年3月31日現在）

合計 90件

意見聴取票による聴取 81 件

その他書面 9件

「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して提出された意見**①園児の通園の負担（通園時間、通園手段等）及び通園時の安全に関すること**

・通園について

バスの運行拡大や駐車・駐輪場の確保について。 他30

バスの利用料について。 他10

通園バスの運行ルートについて。 他3

自家用車での送迎について。（可否や交通量の増加、送迎ルールの必要性について） 他2

なばたと壱分の距離であれば通園バスまでは必要ないのではないか。

通園バスの運用について具体的に明示する段階であると思う。

自宅の前まで送迎バスが来てくれると助かる。

なばた幼稚園児を優先してバス送迎すればいいと思う。

バスに専任の先生が必要だと思う。バスの乗車時間の長さや、到着時刻の前後について理解が得られるか。

通園バスの安全な運行。

壱分幼稚園付近の安全対策を。

・立地関連について（隣に小学校があることや周辺の環境について）

通園距離が長くなる側の負担は考えているのか。 他1

小学校も近隣にあるため、そちらの通学の安全も確保すべき。 他3

周辺の道路や信号機の整備も考えてほしい。 他1

・その他意見や提案

なばたと壱分の中間地点に新しい園を作ってはどうか。 他1

行政の効率化でなく、地域住民・入園家族の意向を優先して配慮してほしい。

先に場所の設定をしてから議論するべきではないか。

時差通園についても考えてはどうか。

行事のある時について、園区が広がると車で来る家庭も増えるので対策が必要。特に祖父母も来られる運動会は、近くのスポーツ公園や小学校を利用するなどに対応してはどうか。

保護者の情報交換の機会が失われるということがある。積極的な情報発信が望まれる。

駐車スペース確保で園庭が狭くなることを懸念している。

対象児童が0歳～となるので、より手厚い通園環境が必要。

②再編の環境変化に伴う園児及び保護者への対応に関すること

・生活環境について

多人数になるので良いのではないか。（社会性、他園との整合性等） 他11

再編期の数年はコストがかかっても園児のケアを十分に。

考えすぎなくても園児はそれなりにたくましい。

感受性は子どもそれぞれ。変化に困惑しないように配慮してください。

1クラスはさびしいが、あまり多いと先生が目も届かない。何人くらいのクラスになるのだろうか。

1クラスになるのなら縦の関わりを増やせば良い。吉分は良い幼稚園なので続いて行ってほしい。

1クラスでも不安は無い。

移行期間などで一時的に少人数になるのは仕方ない。

先生等の運営に必要な人員の充実もお願いしたい。

子どもはどのような園でも与えられた環境が良ければなじむと思う。

・私立幼稚園やこども園との比較について

習い事やスポーツで、私立のように月謝を払っても通わせたいと思われるように公立幼稚園の特色を出す。 他1

私立幼稚園のメリットを公立幼稚園にも取り入れる努力が必要。 他1

私立・公立・こども園 比較すると公立に行かせる魅力は少ない。推しが見当たらない。

私立と公立の幼稚園では保育面の充実度が全く違った。公立はもっと工夫が必要なのではないか。

より多くの子どもが集まるようなこども園を作り上げてほしい。私立に負けないような新施設となるように予算化してほしい。

地域で育てくれるのがベスト。公立も私立と同等の教育や特性を出せないのか。

厳しい言い方になるが、公立幼稚園の特徴は「幼稚園代が安い」こと。幼保無料化に伴って、独自の教育を打ち出しやすい私立や、働く保護者が増えたことにより保育園に園児が流れてしまうのは当然かと思う。公立幼稚園に通わせたいと思うように、幼稚園自体も変わっていかねば園児は増えないと思います。

・在園や卒園について

現在在籍している園で卒園できることが望ましい。 他1

なばた幼稚園に通園中の園児も新しい園で卒園するという選択肢があっても良いと思う。 他1

在籍する園で卒園となると、年下の園児がいない年代が発生する。

なばた幼稚園の園児が卒園まで楽しく過ごせるよう、保護者の心配や不安が解消されるよう対応をお願いしたい。 他1

・その他意見

変革には不安がつきもの、柔軟に受け入れてはどうか。

1クラスになるという不安から他園を選ぶ人が多い。少人数すぎてかわいそうに思い、自分の子を吉分幼稚園に通わすか悩んでいる。

人が多いことや、イベントが盛り上がることも大切だが、子どもの安全な環境についてをまずは考えるべき。

保育ニーズが変化しているのは仕方ないこと。人数に関わらず子どもの不利益とならないように配慮・対策を求める。

こどもは順応性があるので、大きなイベントへの配慮があれば大丈夫かと思う。保護者への情報発信・相談対応は必要だと思う。保護者の不安解消は子どもにとっても良い。

そもそも再編してひとつの園にする必要性は？それぞれの園の空き教室を保育に使用すれば良いのではないか。

再編の計画や進捗を、広報等で発信してほしい。

働く親が多い中、一般的な取り組みでなく魅力を感じる園の内容や情報発信も考えてほしい。

③幼稚園と地域との関係に関すること

・地域との関係について

より広く交流が増えたら良い。 他3

統合により変わるものではない。 他5

園の方針による。 他4

地域の活性化になると思う。 他3

「あいさつ運動」「パトロール運動」などで地域の方々にはお世話になっている。今後も交流が継続できれば良い。 他9

壱分・なばた両地区の住民同士の交流があれば（作れば）、問題はない。 他3

異なる家庭環境の利用者が増えるので、不公平感が出ないか。

小学校との連携については、壱分小・東小の両校と地域別に行えれば良いと思う。

今までもそこまで交流があったようには思えない。地域の方に声をかけるのであれば、バザーや音楽会等で試してみてもどうか。

老人会等との交流もあれば良いと思う。

接する機会は少なくなるかもしれないが、子どもが多勢で園生活を送る環境のほうが大切だと思う。

かざぐるま、延寿との交流は教育にとっても良かった、今後も可能な範囲で続けてほしい。

地域交流や見守りをもっと重要視し、こども園となってよかったと思えるようにしてください。

壱分小学校との交流が少なくなるのならば悲しい。

卒園後は壱分と生駒東で違う小学校に通うことになるが、それぞれの小学校との連携はしっかりと行われるのか。

壱分・なばたの地域のかかわりの中で、継続していく行事等を考慮する。

少子化も一因とは思いますが、最近は保護者の方が地域との交流（自治会やこども会など）を望んでいない気がする。

・その他意見

幼稚園と保育園の違いが不明。

幼稚園と交流した経験があまりないので、よくわからない。

現在どのような交流が行われているのかを広報などで発信してほしい。

市教育委員会の考え方は具体的でない。

今の時代こども園になるのは仕方ない。

④跡地の利活用に関すること

・跡地の利用案

みっきランドのような子育て支援の拠点。雨天でも利用できるような施設が良い。 他1

保育園・学童保育施設・病児保育施設

公園 他1

病院・介護施設

遊園地

通園バスの停留所

地域住民のための集会所。 他2

建物は生涯学習の場。運動場は緑地公園。子どもと地域住民の交流の場にもなる。

こども食堂

商業施設

子育て世代から高齢者まで利用できるような施設。

空き教室を利用したの習い事。保護者や地域住民、ボランティア同士の交流にもなる。

・跡地利用の検討について

どのような利用にせよ、地元理解が必須である。

地域と十分に協議し、地域に役立てるよう活用してほしい。

遊具やグラウンドを子どものために再利用してほしい。

検討の過程は透明性に配慮してほしい。

廃墟となり、治安の悪化につながるようなことは避けてほしい。

そのまま放置されることなく、有意義に活用してもらえれば。

総合的な観点をオープンにしていきたい。

小学校、高校、かざぐるま、保育園が近くにある。そのような環境にふさわしいものにしてください。

防災に役立つもの。

・その他意見

今決めることではないと思う。

園庭があるうちは開放してほしい。

壱分幼稚園を残すことも視野に入れてほしい。なくさなくてもいいと思う。

自然と親しむ元気な子どもに大切に育ててほしい。

市民アンケートをとってはどうか。

⑤特別な配慮を要する園児への対応に関すること

専門のスタッフ（療養のできるような）の増員をしてはどうか。

園児によって必要な配慮は様々。個々にあった対応を。 他2

園児の保護者と十分に話し合い、必要な対応を願う。

行政効率化ではなく、市民保護の観点から必要な対策を講じてほしい。

教育内容が後退することのないようにしてほしい。

現場の声をしっかり聞くべき。保育者の増員が必要。 他2

園児のストレスとならないように、環境の変化は最小限にしてほしい。

空いた施設があるならば、それを配慮が必要な園児専用の施設にすればどうか。

職員の負担は増えるかもしれないが、同じ年齢の子ども達と学ばせてあげてほしい。

その他意見

「こども園化」と言われても、どういうことなのかわからない人がたくさんいるので、詳細な説明が必要。保育時間、延長保育、お弁当のことなど。こども園化することにより今までと何が変わるのか、具体的な説明を保護者に行うことで、不安なく通える園であるということを示していく必要があると思います。

統合には賛成。過剰な不安や配慮は不要。

全体を通して「配慮します」「柔軟に対応します」「継続されるよう努めます」「総合的に検討していく」「必要な対応策を講じていく」等の文章が多く、具体的な対策がわからない。もっと具体的な案を示し、地域の意見を確認すべきではないか。

こども園が増えることは今のニーズにあっていると思う。環境の変化は、境目の時期にはどうしても起きること。通園負担についてはよく検討していただきたい。

統合するだけで今までと特に変わりがなければ、入園希望者も増えないと思う。保育時間、お弁当、役員等の親への負担などの点で改善がなければならない。

人口が減っていく中、統合もやむなしと思う。

働く母親は年々増えており、どうしても通常の幼稚園には通えなくなってしまう。統合されたこども園の特長を生かせれば良いと思う。

統合してこども園化することは特に問題ない考える。問題はどれだけたくさんの園児を私立幼稚園に対抗して集められるかということ。

こども園化は時代の流れ。しかたない。従って、こども園化することによるデメリットを解決できるのであれば、こども園のほうがよいと考える。ただし、統合される側のなばた幼稚園の保護者の意見については十分に聞いていただき、対応してほしい。

少子化により幼稚園の利用が減ってきていて、かつ共働きが増え、保育園の入所希望が増えているという構造は、おそらく変えられない。幼保一体の環境は良いように思う。子どもらの安全は第1義。それには場所や規模を決定したうえで、優秀な人材を適所に配置することが必要だと考えます。これについて市は十分な検討と協議を尽くし、実行してほしいです。

就労家庭の増加で待機児童も増加。保育園が足りない状況の中、保育園と幼稚園の一体化はできないだろうか。

私の子ども達の幼稚園は園児数も多く活気があり、運動会・発表会などとても楽しい思い出になりました。園児が少ないと少し寂しい印象に思えるので再編には賛成です。預かり保育など保護者の方達が働きやすい環境も作っていただけるとと思います。

なばた幼稚園と壱分幼稚園を統合し、こども園化する案については賛成です。統合し、こども園化することによって、園児数が増え、保育園の待機児童の解消になりますし、『保育・教育・子育て支援』を提供していただけるこども園は、保護者や地域の子育てニーズに応えることができ、今の時代に合っていると思います。

なばた幼稚園と壱分幼稚園が統合しなくても、それぞれがこども園として、幼保一体でやれば良い。保育園でも歩いて行く、自転車で子どもを連れて行く親をよく見かける。さつき台1丁目・2丁目まで平群幼稚園バスが回ってきているが、営業力で負けている。放置してきた行政もおかしいと思う。

雇用維持の観点からも、なばた、壱分、両園の存続を図るための検討を行ってほしい。

生駒市の人口減少傾向に対して、転入者促進、子育て充実の観点から行政を進めてほしい。

園児が減少しているのは少子化の影響があるのは確かであるが、周りにある私立のこども園や保育園等の存在も大きい。
園児の減少に合わせて統合という対策でなく、こども園化やサービスの拡充等により統合せずに園児を多く集めることができるように対策を考えるほうが良いと思う。

年の違う子どもたち（0歳児等）と交流もできるので良いのではないかと。より社会性が育つと思う。

幼稚園が軸になっているこども園は、行事が平日になるため働く親は仕事を休むか不参加になる。幼稚園は夏休みなど長期休みや運動会の代休があるが、保育園には無い。
同じ場所に通っていて、保育園児は早く帰る幼稚園児の子どもを毎日見ているのはかわいそう。
幼稚園の無償化が、公立から私立に園児が流れた原因ではないでしょうか。

こども園化することで地域の方達との交流・繋がりは少なくなると思う。メリットデメリットありますが、入園前の保護者の方々と意見交換されたら良いのではないのでしょうか。

職員の数も増えるのであれば、その駐車スペースは足りるのか。保護者の方が車で送迎に来られても、近隣は民家であり、駐車スペースがありません。壱分でもなばたでも、駐車スペースがないので車はダメというのは今の時代に合っていないと思う。園利用者も近隣住民も交通ルールを守るようにしないといけないと思う。バスの運行については園が近くでも利用したい人もいないかもしれない。幼稚園を利用している人でも保育時間に働いている人もいます。どちらにせよ不公平感のないように考えていただきたいです。
近隣住民、自治会、双方の幼稚園の利用者に市はきちんと説明すべき。プランありきでは納得できない人もいますのでは。

隣接して小学校もあるので通学時間帯に車やバスの出入りが激しくなるのは安全面で不安。学校と学童の下校時間についても十分に考慮してほしい。保育園児の送迎時間は一定ではないはず。車で送迎を許可するのであればマナーは徹底してほしい。現在でも路上駐車が多く見られる。
壱分は現在でも住宅地の開発が多いが、菜畑に幼稚園がなくなることで、さらに壱分地区に人が多くなり、以前のように壱分小学校の人数が増えすぎて教室が足りないなんてことになるかもしれない。菜畑からの通園者には通園バスを利用できるようにしてあげてほしい。
隣接地区に南こども園があるので、再編・こども園化の実態を知りたい。同じような質問や問題点が設立前にあったはず。特にデメリット面をどのように解決したのか知ることができれば、再編・こども園化への不安は減るはず。

こども園化に関して気になる点は

- ・通園距離の長くなる子ども達への対応
- ・自家用車で送迎するための駐車スペース
- ・先生の確保
- ・園舎の広さ
- ・これから入園を考えている人への対応

市教育委員会の考え方は抽象的すぎて意見するのに困った。意見交換会では細かく話されていると思うが、統合・再編に向けて話し合うのであれば、当事者に伝わるように現実的な対応を盛り込んだほうが良いと思う。この内容でいかがですかといわれると、自分がこれから幼稚園に通わず子どもがいるとすれば、なばた幼稚園は不安すぎて選択肢から外すと思う。なばた幼稚園の不安は大きいと思う。

メリット・デメリットは子どもに対するものと保護者に対するものが混在していてわかりにくかった。資料全体として、幼稚園を必要とする家庭にとってどうなのかはわかりますが、保育園を必要とする家庭にとっての情報が少なく感じました。ストレートに申しますが、保護者が就労し長時間の保育生活を必要とする子どもにとって従来の保育園がいいのかこども園がいいのかが疑問です。保育園で守られている保育・養護が幼稚園の子どもと一緒に過ごすことになっても、今まで通り守られるのかが気になります。また、こども園化する場合には認定こども園としてスタートさせてほしいです。

学年が1クラスでは社会性を身につける集団生活は維持しにくい。保護者としても役員や園の手伝いなど役割分担が難しくなるなどのデメリットがある。しかし、ゆくゆく進学することになる学校と関わりがもてることや、送迎を保護者自身で行える距離であったことは非常に良かったと思う。送迎時に直接先生とやり取りすることが可能であり、園・保護者・地域一体となった保育を実感していた。このような点はなばた幼稚園においても同様だと思う。また、時期は不明だが、東生駒4丁目の森を造成し住宅地にする計画があるという話を聞いている。そうなればまた子どもの数は増えるので、この統廃合計画は早急に進めるべきではないと考える。

こども園の運営は民間か公営か。保育所となれば保健師や調理師も必要となる。

なばた幼稚園は改修されて比較的新しい。また、周辺では大規模な住宅開発が始まりつつある。壱分幼稚園と統合するのではなく、せっかくある施設を活用し、今後子育て世帯が増加したときに保育ニーズに対応できるよう壱分・なばた共にこども園化するのはどうか。

働くお母さんを応援したい。今のニーズにあった幼稚園・こども園をお願いします。

両親共に仕事を持つ家庭が増えており、保育園を選ぶ家庭が多いのは事実。統合ではなくそれぞれをこども園化というのは無理なのではないでしょうか。人数も増えて地域交流も増えると思います。壱分幼稚園近くには大きな住宅地も増えて、若い家族が引っ越してきているようです。子どもの人数も増えるのでは。

こども園化は様々なニーズの変化に伴う改変。メリット・デメリットはどちらもあるもの。改変期はデメリットが目につくが、長いスパンで見ればまた違って見える。こども園化は理解できます。

幼稚園が1クラスだからといってマイナス面ばかりでなく残す方法も考えてほしい。少人数は逆に目が行き届いて良いと思う。小学校に向けた学習も取り入れている点も良い。

統合には賛成。子どもの数が減っているし、待機児童も減る。ただ、駐車場の問題が必ず出てくる。大きなスペースを確保できるのか。

子育てから離れていたのが幼稚園児がここまで減少していると知りませんでした。働くお母さんが増えている現状なのでこども園を作ることは賛成です。

こども園に通った経験や周囲の意見を聞くと、保育園卒の園児は幼稚園卒の園児が早く帰宅するのを見て、なぜ自分は早く帰れないのかと悲しくなったり疑問に感じたりすることがあるようです。各家庭での説明や園でのフォローが必要になるかと思っています。

住みよい町、生駒。ランキングでも関西上位ということで戸建てを購入したが、希望する保育園には入れず。結果会社も退社せざるを得なくなり、落胆しています。共働き世帯が今後さらに増えることを考えれば早急にこども園化していく必要があると思います。

園児が多くなり、みんなで同じものを食べられる給食になるのであれば、とても嬉しいです。その反面、幼児期の教育が保育と一体になるのなら、体遊びやお勉強等にどのような変化があるのか知りたいです。再編については今のところ良いなと考えています。

今年4月から壱分幼稚園に入園予定であるため、在園中に移転や建替えにより移動となるのが一番困るし、子どもたちにとっても負担だと思う。落ち着いた園生活を過ごさせてあげたい。

再編することもいいのですが、幼稚園自体をこども園化すればそのまま継続、尚且つ園児も増えるという風になりませんか。問題点はありますか？

統合により削減できる費用と通園バス拡大による追加費用の差はどのようなものか。

統合・こども園化による良さを活かしていけるように、細かな執行状況の検討を今後も続けていってほしい。優秀な人材確保の研修等に力をいれてほしい。

孫が一時待機児童となったので壱分幼稚園がこども園となる事は賛成。待機児童の削減にもなる。しかし西地区から0歳児を登園させるのは保護者の負担が大きい。壱分西地域にも出来れば駅近くに市立の保育園を。

就労家庭の増加、保育ニーズの増加の現代、こども園化に賛成。家庭状況が変化しても転園しなくても良いのが子どもにとっても良いことだと思います。

小さい子どもがいる世帯ではないが、年齢の離れた子どもを同じ園で保育できる。昔は就労したくても保育園が少なく、働けずに幼稚園に入園させていました。未だに待機児童が多いのであれば、こども園化して、負担を軽くしてあげてほしい。子どもに弁当を作りたい人は、助成金もあるので私立の幼稚園が合っている。

集団による成長促進の為、統合はやむなしと思う。合理化だけでなく、こども園となる壱分幼稚園の教員の増員をし、きめ細やかな対応がとれるように配慮を願う。

市立幼稚園の園児がなぜ減少しているのか、問題点を解決しなければ根本的な解決にはならないのではないかと。（時間や教育内容等）

長期的な視点で子ども達の教育保育の面でプラスになる様に方向を検討すべきと考える。

「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応

具体的な課題	考えられる対応
①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること	
(1)通園バスの利用料について	
(2)通園バスの拡大・ルートについて	
(3)駐車・駐輪スペースの確保について	
(4)交通安全や道路整備について	
(5)遠方からの通園者の負担について	
②再編の環境変化に伴う園児及び保護者への対応に関すること	
(1)必要な職員数の確保について	
(2)私立との違いについて	
(3)小規模（少人数）について	
(4)在園児の卒園について	

具体的な課題	考えられる対応
③幼稚園と地域との関係に関すること	
(1) 地域とのつながりについて	
(2) 両地区との交流について	
(3) 小学校との連携について	
④跡地の利活用に関すること	
(1) 子育て支援の拠点	
(2) 子どもや地域の人々が集える場所の整備について	
(3) 周辺環境(小学校、高校、かざぐるまに隣接)にふさわしいもの	

具体的な課題	考えられる対応
⑤特別な配慮を要する園児への対応に関すること	
(1) 専門職員の増員について	
(2) 環境変化を最小限にすること	
⑥その他	
(1) 園庭等敷地の問題について	
(2) イベント時の来園について	
(3) 入園希望が増え、定員オーバーにならないか	
(4) 園児が私立に流れないか	
(5) 幼稚園を軸とした行事の日程について	
(6) 両地区開発による世帯増加	
(7) 園児の帰宅時間の差について	